

NEWS LETTER

平成 30 年度 **ぎのわん地域づくり塾** Vol. **3**

主催：宜野湾市 / 宜野湾市社会福祉協議会
共催：沖縄国際大学 運営：特定非営利活動法人 まちなか研究所わくわく

第 3 回 上大謝名の地域課題の「現象」と「原因」を考える

日 時：8 月 10 日（金） 19:00-21:30 場 所：上大謝名自治会
講 師：まちなか研究所わくわく 宮道喜一 氏 参加者：36 名
ゲスト：株式会社がちゆん 平仲稚菜 氏



第 3 回講座は、上大謝名で学習支援を行っている株がちゆんの平仲稚菜氏をゲストにお招きし、上大謝名の学習支援の取り組みについて話して頂きました。

株がちゆんは、修学旅行生向けの平和学習を実施しています。普天間基地滑走路の延長線上にある上大謝名地域を案内したい、という事を大城会長に相談した結果、快く受けてくれました。

私たちも、何か上大謝名へ貢献したいという気持ちから学習支援が始まりました。地域に外部団体は入りにくい傾向にありますが、上大謝名はウェルカムで迎えてくれました。どちらもウィンウィンの関係性なので、活動を継続することができています。

今教えている小学生達が、今後、中学生、高校生になった時に、この公民館で地域と繋がりを持ち、学習支援などの担い手になってほしいです。

講座では下記の〈上大謝名の地域資源〉について話がありました。

大学生が多く住む地域/察度王の居城だった黄金宮/外部団体と連携できる風土/活動拠点（公民館や公園など）/小さな商いが多くある

その後、チームに分かれて、これから取り組む

上大謝名の地域課題の選択しました。そして、だれがどんなことで困っているのか、目に見える「現象」を付箋紙に書き出しました。次に、それを引き起こすもとなる「原因」を考え、付箋紙に書いていきました。最後にチームごとに発表が行われました。

【各チームの取り組む課題】

- A チーム：地域の居場所づくり
- B チーム：子ども会活動の活性化
- C チーム：新しい公民館利用者の拡大
- D チーム：新しい公民館利用者の拡大
- E チーム：地域の居場所づくり
- F チーム：地域の居場所づくり

【講座レポートより】

- 地域の人と、地域外の人と違う視点で情報共有・検討できたことが面白かった
- 外部の人・団体から刺激を受ける
- 地域の歴史背景などを勉強する必要がある
- 地域の人をどう巻き込むかを考えていきたい
- 多くの人が集まって話し合う環境は必要だと改めて思った